

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成11年8月17日 第20報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	1		
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	60		
(藍) <i>Microcystis sp.*</i>	10		
(藍) <i>Anabaena affinis</i> *	4		
(黄) <i>Botryosphaerella sp.</i>	200		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	82		
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima f. spiralis</i>	39		
(珪) <i>Cyclotella sp.</i>	20		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis var. pusilla</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	5		
(珪) <i>Acnantes minutissima</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	160		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	60		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	10		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	10		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	10		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	72		
(緑) <i>Scenedesmus circumfusus</i>	160		
(緑) <i>Mougeotia sp.</i>	4		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	2		
(他) <i>その他の植物プランクトン</i>	50		
(藍) 藍藻綱	75	7.5	0.3
(黄) 黄緑藻綱	200	20.0	1.4
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	176	17.6	21.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	1.0	0.4
(褐) 褐色鞭毛藻綱	220	22.0	39.0
(み) みどり虫藻綱	10	1.0	0.1
(緑) 緑藻綱	258	25.8	37.7
(他) <i>その他のプランクトン</i>	50	5.0	0.0
総細胞数	999	総体積	7.2E+05
種類数	23	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は 第1優占種、第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第1優占種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Keratella cochlearis var. microcantha</i>	500

第2優占種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Keratella cochlearis var. tecta</i>	200

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種

Botryosphaerella sp.
(ボトリオスフェレラ)
黄緑藻綱



細胞は球形で小さく、直径2~3 μm 。
多数の細胞が集まって不定形の
群体を作る。1群体の細胞数は1000
細胞数を超えることもある。

動物プランクトン第1優占種

Keratella cochlearis var. microcantha
(カメノコウワムシ)
甲殻類



*Keratella*属は背側と腹側の
2枚の殻を持つ。基本種の
Keratella cochlearis は殻
の後端が細長く伸びている。
var. microcantha は後端
突起が短い。

コメント:

植物プランクトンでは、ボトリオスフェレラが200細胞観察されたため、数のうえでは黄緑藻綱の占有率が20%程度となった。しかしながら、本種は1群体当たりの細胞数が多いものの細胞が非常に小さいことから体積では占有率は2%にも満たない。したがって植物プランクトン相としては前回と同様に、珪藻綱、褐色鞭毛藻、緑藻がそれぞれ同程度の占有率で存在しており、さほど変化がないものと考えられる。